

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月25日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690102704
法人名	社会福祉法人 野の花会
事業所名	グループホーム ポスク
所在地	鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘三丁目15番7号 (電話) 099-265-3580
自己評価作成日	令和5年2月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月11日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は桜ヶ丘の閑静な住宅地で安心のシニアライフを信念としたグループホームとして令和4年8月に開設しました。全個室(トイレ付)各ユニット浴室完備(週に3回の入浴)、認知症で自立した生活が困難になったお客様にご自宅と変わらない雰囲気で生活が続けられるように、家具なども自分の家に近い雰囲気の中で、食事、入浴、排泄等の日常生活の支援、心身の機能訓練を行う事により、お客様が安心と尊厳のある日常生活が継続できるよう、自立支援の介護に努めています。外気浴、散歩、脳活性化リハビリを取り入れ認知症予防や改善にも取り組んでいます。コロナ禍で外出行事が難しくなり、別棟にあるイベントスペース「春」にて運動会、クリスマス会、季節行事などいつもと違った雰囲気を感じて頂きお客様に楽しんで頂いています。入浴の際、お客様の希望に沿って時間帯を調整しリラックスして入浴頂けるよう工夫している。菖蒲湯、ゆず湯などの季節感を味わっていただいています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は介護付き老人ホームから移行し昨年8月に開設している。
- ・理念は福祉に文化をとの基本に利用者の生活を文化と捉え尊厳あるケアに努めている。
- ・職員は利用者と一緒に話す時間を設けコミュニケーションを図っている。
- ・本人や家族の希望する医療機関と連携しながら、家族の協力で定期受診や往診、月1~2回の訪問診療、職員看護師による健康チェックを行い、24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。
- ・食事は法人栄養士による献立で毎日主菜が届き、食形態は利用者の状態に応じて盛り付けし提供している。ご飯と味噌汁は事業所で準備している。
- ・行事食のお節は重箱で提供している。日々の食事でも利用者は美味しいと食べるのが楽しみとなっている。
- ・法人は資格取得に向けて積極的な声かけや試験対策連絡体制がある。事業所でも配慮あるシフトを作り、協力的で資質アップに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「福祉文化の創造（福祉に文化を）」を法人理念とし、お客様の生活全てを文化と捉え、尊厳あるケアに努めています。理念はケア会議、職員会議、広報誌等で日々周知を図っています。	法人理念を基本に利用者の生活すべてを文化として捉え、職員全員が共有し、言葉遣いに留意し尊厳あるケア実践に努めている。月1回諸会議で理念についての周知とケアについて振り返っている。玄関とフロアに掲示し重要事項説明書に掲載している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域行事への行事は難しく、近所の散歩やドライブなどで地域へ外出、交流している。	町内会に加入し回覧板があり、地域情報は得ているが、コロナ禍で参加も難しく、散歩時や近隣の無人販売所利用時に挨拶を交わす程度である。開設1年未満であり、地域とのつながりを持つ努力をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	法人は毎年地域に向けての講習会や勉強会を定期的開催できず、事業所の実習性、ボランティアの受け入れもできていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を開催し、お客様の状況や活動報告を行っている。新型コロナウイルス感染症対策で参加人員を縮小し、職員へはケア会議、ミーティングで報告している。</p>	<p>運営推進会議を地域の代表の参加協力で開催し、利用者の状況や行事・活動を報告している。事業所が地域住民と関わる方法について意見をもらい、福祉館の活用方法等、今後情報を得ながらサービス向上に活かしていく計画である。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市担当者とは問題点や情報等その都度窓口や電話で相談、報告を行っている。長寿あんしん相談センターとは運営推進会議等で情報交換や連携を図っている。</p>	<p>市担当者とは窓口に出かけ書類提出や情報収集し、解らない事は電話で相談したり、日頃から協力関係を築くようしている。市主催の管理者研修や実務者研修に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人は開設当初より身体拘束をしないケアを実践している。法人全体で定期的に勉強会を実施し、事業所でも年間研修計画にて定期的に研修を実施し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人全体で定期的に身体拘束をしないケアについて勉強会を実施している。事業所内でマニュアルもあり身体拘束廃止委員会を定期的に開催し、拘束の具体的な行為について研修を実施している。スピーチロックを含む拘束をしないケアに取り組んでいる。日中玄関の施錠はせず、外に出ようとされる場合は懇談し、一緒に施設内を歩いたり、玄関前の駐車場に出て散歩する等、個々に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関するマニュアル、年間研修計画にて定期的に研修を行っている。又、日常の声掛けやケアでも職員間でも互いに注意し、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>以前成年後見人を利用されているお客様がいたが、定期的な研修等行えていない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前に見学して頂き、契約の際は管理者、相談員が内容を十分説明し、理解、納得して頂けるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>お客様、ご家族の意見や要望は面会時や電話、運営推進会議等で確認し、その都度対応している。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会時や電話で現状報告し意見や提案など言える機会を設けている。直接電話で相談を受け対応している。視覚的情報の提供やコロナ感染症が5類変更後の面会について検討してほしいと要望があり、検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議（リモート会議）を毎月理事長も参加し実施、運営や行事、サービス内容等を報告、協議している。ケア会議やカンファレンスでは職員の意見が出やすいように配慮し、年2回の人事考課の面談でも聞き取りしている。</p>	<p>毎月理事長や管理者参加のリモートでの職員会議やケア会議・昼礼・日々の関わりでも意見や提案を聞いている。日々声かけし意見が言える環境を心がけている。年2回の個人面談や必要時に本部と相談し一緒に面談することもある。負担感の多い入浴担当の調整、居室にケア情報共有のノートを参考にする等、意見を反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人は年2回の人事考課制度を導入し、職場環境の整備に取り組んでいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人は施設内研修や外部研修（ZOOM）へ参加できる体制や資格取得できるような支援も行っている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣の同業者との交流や職員も外部研修（ZOOM）へ参加できる機会を設け、ネットワーク作りやサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始前には必ずご本人、ご家族と面談し、身体状況や、環境、生活歴等伺いながら本人の安心を確保し、不安や寂しさを感じさせないような関わりを心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様、ご家族様の思いや不安、要望等を確認し、安心して利用できるよう信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様が何で困っているのか、何が不安なのか見極め、必要なサービスも含め個別対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の暮らしの中でお客様のできることや役割を見つけ自立支援を促すケアに取り組んでいる。ゆっくりとした時間を一緒に過ごし、尊厳を大切にしながら関係づくりに務めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様と共にお客様を支えるように随時連絡や相談、面会（ガラス越し）の機会を設けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>お客様一人ひとりの想いや、生活歴、馴染の関係性を尊重し、実現できるような支援に努めている。</p>	<p>入所時の情報や日々の会話、生活歴から関係性を把握している。家族や友人・知人のガラス越し面会にはスピーカを使って交流を大切にし、電話・手紙・葉書の取次支援をしている。馴染みの場所へのドライブ支援、家族の協力で墓参りや買物、告別式参加を職員同伴で支援している。定期的に訪問理美容師を依頼している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食事の席やレクレーションの場所等お客様の状態や性格など配慮しながら支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院や退居にて契約が終了しても、必要に応じて電話での近況の確認を行い、ご本人様、ご家族様が不安にならないように相談や支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの想いを大切にその方らしく暮らして頂くため、ご本人様、ご家族様より希望や意向を伺い、可能な限りご本人様の想いに沿った支援に努めている。	日々のコミュニケーションの中で、特に訪室時、食後のコーヒタイムの時等に思いや意向を聞いている。困難な場合は表情、払いのける等のジェスチャー、食欲低下等から職員間で話し合い、家族に電話で情報提供し意見を聞き、状況を業務日誌や送りノート、電子カルテにも赤文字で記録し全職員情報共有し、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用開始前にご本人様、ご家族様、担当されていた機関からの情報や生活環境等の情報収集し、職員間で共有するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしや心身状態等を個別記録に残し、職員間で連携を図り情報共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様の意向や課題を考慮しながら介護計画書を製作し、担当者会議を開催している。	本人や家族の意向を聞き、課題を考慮しながら主治医の意見や職員の意見を基に仮介護計画を作成し、担当者会議で現状に即した介護計画を作成している。1ヶ月毎のモニタリングと3ヶ月で見直している。状況変化時はその都度見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケア記録に日々の状態や言動、経過等記録している。食事、水分、排泄等も記録し職員間で情報を共有しながら介護計画の見直しに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	サービス計画以外でも多様なニーズや意向に応じて必要な時に必要なサービスが提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事や事業所の外出行事等できるだけ地域の中へ出かけるように努めているが、最近ではコロナ禍で外出の機会が少なくなっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様の希望や今までの主治医との関係が継続できるように支援している。家族が受診介助できない時や緊急時は職員で支援している。往診を希望されるご家族様も多く、主治医との情報共有、連携を図っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医と連携しながら、家族対応の受診や往診、月1回または月2回の訪問診療、職員看護師による健康管理を行い24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。歯科医の月1回の訪問診療や必要時は往診、他科受診は基本家族対応であるが、職員が対応することもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤の看護師が2名おり、介護職との情報交換や医療機関との連携が図れている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院後は、相談員が定期的に状態確認し、主治医との連携で早期退院できるよう支援している。日頃よりかかりつけ医療機関との連携を図るように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期、緊急時の対応等については日頃よりご家族様と話し合い、主治医の助言をいただきながらご家族様が不安にならないように支援している。</p>	<p>入居時ホームの方針について口頭で説明している。重度化や終末期、緊急時はその都度主治医から家族に説明を行い、意向確認しながら、方向性を共有している。主治医や看護師と連携しながらケア実践している。看取り支援の準備はできている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故対策マニュアルもあり、法人内で行われる研修（AED、心肺蘇生）勉強会も実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時のマニュアルもあり、年2回以上、日中、夜間想定での避難訓練等を実施している。</p>	<p>災害のマニュアルが有り、年2回防災訓練を実施予定で1回は夜間想定での避難訓練を実施している。年度末に消防署立会の点検をしている。近隣住民への声かけし協力体制を築いていく予定である。備蓄は水・ご飯・レトルト食品・ジュース等、2～3日分とカセットコンロ・ボンベ3本入りを3箱準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>法人の理念に深く関わっており、法人が最も大切にしている部分である。居室も個室でトイレ、洗面所が整備されている。</p>	<p>理念に基づく尊厳あるケアで一人ひとりを尊重し、プライバシーを損ねない対応をしている。呼称は苗字のさん付けである。声掛けの工夫、ドアの開閉に留意し排泄時は居室設置のトイレを使用し入浴は個室となっている。生活場面では自己決定できるように声かけしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々の生活の中でお客様の立場でゆっくり傾聴し、会話を楽しめる環境に努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切にし、ゆっくりお客様に寄り添いその人らしく暮らせるように支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>季節に応じた身だしなみやおしゃれが楽しめるよう配慮し、ヘアカット、カラー、パーマ、顔剃りなどの利用もできる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様に合った食事形態、嗜好にあった食事提供、食前の嚥下体操等楽しみながら食事ができるよう配慮している。季節を感じる献立や、行事食にも努めている。	入居時に嗜好調査し法人栄養士に報告。それぞれの食形態で盛り付けし提供している。行事食の花見弁当やおせちは重箱に盛り付けして提供し、誕生日は好みのケーキとショートケーキでお祝いする等、楽しみとなっている。おやつは手作りおはぎを提供することもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮した食事の提供、食事量、水分摂取量は毎日記録に残し職員間で共有している。水分、食事量が少ない方は主治医へ報告し栄養補助食品等（ゼリー、エンシュアリキッド等）その都度対応している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の身体状況に応じて口腔ケアへの声掛けや介助にて毎食後実施している。歯科医師の往診も受けられる体制が来ている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	プライバシーに配慮しながらトイレでの排泄を基本とし、排泄チェック表を活用し排泄ケアに努めている。各居室にトイレがあり安心してトイレで排泄できる環境となっている。	布パンツを目標に、カルテからの情報で時間帯を把握し、居室設置のトイレに声かけ誘導し、安心して排泄出来るよう支援している。利用者の状態に応じて見守りや介助している。排泄用品はリハビリパンツに尿取りパット、布パンツに尿取りパット等、利用者の状況に応じて対応し自立に向けた支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の日課に体操、天気の良い日は屋外へ散歩などの運動取り入れ水分で便秘予防に取り組んでいる、水分は1日1500mlを目標にその方に応じた飲み物を提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴できる体制になっており、週3回希望される時間帯に個別で入浴を楽しまれている。入浴されない場合には清拭で対応している。	毎日入浴できる体制であるが、基本的に週3回、9:30~11:15、午後4:00迄の希望する時間帯に湯温も調整し入浴支援しているが状態に応じてシャワーと足浴支援もある。入浴剤やゆず湯、菖蒲湯も取り入れ楽しめるようにしている。入浴拒否時、声掛け工夫や職員交代して支援している。無理強いせず清拭で対応したり、着替えのみの時もある。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態、体調に応じ休息や午睡ができる環境を設定している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情は個別台帳にいつでも見れるように綴り確認、理解が出来るように、名前、日付けを読み上げダブルチェックし手渡ししている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の趣味や生活歴から役割や楽しみ、できるところを共に模索しながら支援している。屋外の散歩やドライブ等で気分転換も図っている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	現在コロナ禍なので感染症対策にてドライブは車外に出ずに景色など楽しんで頂いている。	年間計画を作成している。天気の良い日は事業所周辺や近距離にある公園まで散歩したり、ドライブ支援で車窓からの景色や花見を楽しんでいる。家族の協力で墓参りや定期受診後に買物支援している。告別式に職員同伴で参加支援し、帰宅後の3日間感染対策を徹底している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設ではお金の預かり等を行っていないが、自己管理されているお客様は自由に買い物等できるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の取次ぎや希望時は電話をかける等の支援を行っており、ご家族様にハガキを準備して頂き、手紙を職員がポストへ投函している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や装飾を飾ることで季節感や家庭的な雰囲気を感じるような工夫をしている。居室は室温や湿度に注意し、馴染の物を使って頂き、居心地の良い空間をつくり、プライバシーに配慮している。	ホールは加湿器付きの空気清浄機を設置し換気を行い、温湿度計を見ながら、エアコンで調整し過ごしやすい環境を心がけている。雛人形を飾り、季節の花を活けて、テーブルや椅子・テレビ・CDラジカセ・ソファを配置し、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルや椅子、ソファの配置を工夫し、お客様同士が楽しく語らえる空間や一人で過ごせる居室や空間を整えている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的には家具等は事業所で準備してあるが、持ち込みも自由でご家族の協力で大切な物や思い出の品などを飾り、自宅の環境に近い状態で安心して過ごせるように工夫している。	居室は電動ベット・タンス・ケアコール・エアコン・洗面台・温座付きトイレを設置している。持ち込みはシーツ2~3枚と寝具類・仏壇・位牌・遺影・テレビ・冷蔵庫・手作り人形・孫や家族写真・旅行時の外国の景色写真等が飾られ、安心して過ごせる居室となるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーになっており、廊下幅も広く車椅子や歩行器での移動も可能である。すべて個室で電気ベッドにてお客様が動きやすい環境整備を行っている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない